

龍りゅう聚しゅう鳳ほう翔しょう

龍が集まり、鳳が空に舞う。この上ないめでたさを祝う語。



上・準備万端ととのい、参列者を待つ受付
下・不動真言、念誦三昧の黒田方丈

ゼロから出発して僅々十五年、成
寿山善光寺はいまや横浜随一の大寺
となった。既成教団としては正に驚
異の奇蹟である。

この大業を成しとげたのは、もと
より現方丈黒田（大円）武志師の抜
群の力量と不惑の実践によるものだ
が、現方丈がいかに出会いを大切に
したか。出会いの素晴しさがこの奇
蹟を生んだものとも言える。

人との出会い、仏との出会い、こ
んな素晴らしい出会いに恵まれるとは
現方丈は稀にみる徳の人である。

檀徒は、方丈を心から信頼し、不
動殿、そして釈迦殿を、心のよりど
ころとし、憩いの場として親しんで
いる。

五月二十八日午前十一時より、不



本寺光真寺方丈を導師に記念法要

動明王の大祭に因んで、開創十五周年記念式典が挙行された。まず記念法要は、不動殿を式場として、本寺光真寺方丈黒田俊雄老師を大導師とし、二十数名の寺院の随喜を得、四〇〇を起える檀徒参列のもとに盛大裡に厳修された。引続き不動殿において記念式典、ハナ肇さんの記念講演がおこなわれ、東郷敏氏の聲涙共にくだる祝辞と併せて参列者を魅了した。

祝宴は釈迦殿において、参列者の美声の競演に時のたつのも忘れて十五周年の感激にひたった。

これから善光寺は、創業から守成に移る。創業は易く、守成は難し。いよいよ寺檀一如の精進が期待される。



献茶湯のお儀式・導師は本寺光真寺方丈



一同「善光寺の歌」を斉唱する



記念講演終って聴集と握手するハナ肇さん



山主のおかあさんと奥さん